



市議会だより

OTA City council

No.103

発行:太田市議会【太田市浜町2番35号 TEL.0276-47-1806 FAX.0276-47-1860】

主な掲載記事

- P.2 ~P.6 …… 9月定例会一般質問の要旨
- P.6 ~P.7 …… 常任委員会の審査結果
- P.7 ~P.8 …… 決算特別委員会の審査結果
- P.8 …… 9月定例会の審議結果



市議会傍聴に行ってきました!



太田市議会では、特別な手続きをすることなく、どなたでも自由に傍聴ができます。
9月定例会では、経済学を学ぶ関東学園大学経済学科公共政策コースの学生が太田市議会を傍聴しました。

あなたの声をお聞かせください!

令和7年度太田市議会 議会報告会・意見交換会

太田市議会では開かれた議会を目指し、皆さんにより議会を身近に感じていただくため、議会報告会・意見交換会を開催します。

市政の身近なテーマについて、議員と気軽に話し合ってみませんか。

- 日時** 令和8年1月17日(土) 午後1時30分~3時(予定)
- 会場** 太田市役所 本庁舎
- テーマ**
- ①「シティプロモーションについて ~教えて! 我がまち自慢!~」
 - ②「文化・芸術振興について」(音楽、芸術など)
 - ③「健康寿命の延伸について」
 - ④「太田市の観光戦略について」

対象 市内在住・在勤・在学

定員 各テーマ15人程度

※申込者多数の場合は抽選とし、結果は全員に通知します。

その他 ホームページや議会だよりに当日の写真が掲載される場合があります。

申込先 電話・メールで下記の内容をお知らせください。

- ①氏名②住所③勤務先・学校名(市外在住の場合のみ)④電話番号
- ⑤参加したいテーマ(第1希望、第2希望)

※申込期限 令和7年12月16日(火)



おかむら わかな
岡村 和奏さん

議員の皆さんが市民の声をしっかりと聞いているということに気づきました。議員さんと話す機会があれば良いなと思いました。

くぼた りく
久保田 璃来さん

聞きなれない言葉や難しい内容もありましたが、議員さんが太田市のことをよく考えてくれていると感じました。



12月定例会の日程

- 11月28日(金) 本会議 一般質問
- 12月 1日(月) 本会議 一般質問
- 12月 2日(火) 本会議 一般質問 市長提出議案の説明
- 12月 5日(金) 本会議 議案質疑 委員会付託
- 12月 9日(火) 総務企画委員会 市民文教委員会
- 12月10日(水) 健康福祉委員会 都市産業委員会
- 12月16日(火) 本会議 委員長報告など

※原則午前9時30分開会。日程・時間は変更の場合あり。

どなたでも傍聴できますので、気軽にお越しください。

詳しくは太田市議会ホームページをご覧くださいか、電話などでお問い合わせください。



太田市議会事務局

〒373-8718 太田市浜町2番35号

☎0276-47-1806 ✉otagikai@mx.city.ota.gunma.jp

皆さんの申し込みをお待ちしています! /

9月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての質問の様子をご覧いただけます。



リチウムイオン電池の火災予防と回収体制の充実について



創政クラブ 川岸 靖隆

議員 太田市消防本部管内でのリチウムイオン電池関連火災の発生件数について伺います。

消防長 令和4年は1件、5年と6年は2件、7年は8月末現在で2件発生しています。

議員 リチウムイオン電池の回収の流れについて伺います。

産業環境部長 ごみステーションでは危険ごみとして回収しています。また、行政センターと市役所庁舎内に設置している小型家電回収ボックスでは、小型家電から分解しないと取り外せない電池を小型家電とともに回収しています。

議員 他市の事例では、小型家電回収ボックスと併設する形で、パール缶を活用した充電式電池の回収ボックスを設置しております。本市も公共施設などへ充電式電池の回収ボックス設置を検討すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 回収容器や方法が適切であ

るかということを含め、今後研究していきたいと考えています。

議員 安全な回収体制のため、小型家電回収ボックスが設置されている公共施設の窓口などで、発火の危険性が高い電池を直接回収することについて、所見を伺います。

市長 安全な回収方法について関係部署でよく協議を行い、議員の提案を含め、検討していきたいと考えています。

■その他の質問

▷民間の力と関係人口で拓く太田の未来について



市外からの交流人口増加を活かした観光事業の強化について



志友会 高野 博善

議員 市外からのイベントなどへの来場者を観光事業につなげ、活かす取り組みについて、所見を伺います。

産業環境部長 スポレク祭などのイベントや金山周辺を活用した誘客促進について、関係者や関係部署と連携をとりながら検討しています。

議員 市外からのプロバスケットボールの観戦者に本市の文化財への興味関心を抱いてもらうための企画について、所見を伺います。

教育部長 おおた魅力再発見バスツアーやOTAマルシェなどと積極的に協力し、魅力を発信していきたいと考えています。

議員 市外からの交流人口をさらに増やし、活かすための取り組み強化について、市長に所見を伺います。

市長 文化財のほかに本市には「産業観光」という言葉もあるように、ものづくりのまちとして産業も観光資源の一つだと考えています。このような強みを活かして交流人口の増加に

つなげることができないか検討しています。

議員 交流人口を増加させるためには、市役所内の部局の垣根を越えたプロジェクト組織やチームを設けるなどの横の調整をさらにスムーズにする工夫が必要であると考えますが、所見を伺います。

市長 縦割り行政の改善と横のつながり、連携は重要であるため、観光スポットへ誘導する取り組みについても各部署で連携を密にし、一丸となって取り組むよう指導していきたいと考えています。



街路樹の管理について



志友会 青木 雅浩

議員 本市には数多くの街路樹があり、老木や肥大化したものなどは周辺環境に与える影響が懸念されるため、状態を気にかける必要があると考えますが、街路樹の管理に関する課題について伺います。

行政事業部長 街路樹は管理が行き届かないと根上りによる通行の支障や倒木被害、見通し悪化などにより事故や苦情につながるため、剪定や伐採を適時行い、苦情をなくしていくことが課題と考えています。

議員 周辺環境に悪影響を与える可能性がある場合、地域ので了承を前提として積極的な抜根や伐採を実施すべきと考えますが、今後の管理のあり方について伺います。

行政事業部長 まず、危険性のある樹木をなくせるよう管理を徹底し、関係部署と協議を進め、必要な予算や人員確保をしたうえで適正な街路樹の管理を実施したいと考えています。

議員 新規整備予定の道路や歩道

における街路樹の設置の有無について、市長の所見を伺います。

市長 道路の街路樹については、地域の要望を踏まえつつ、維持管理費などを勘案したうえで決めていきたいと考えています。

議員 街路樹の管理に関する職員の充実強化について伺います。

市長 計画的な管理と苦情や要望については、スピード感を持ち対応することが必要となるため、状況を確認し、検討していきたいと考えています。

■その他の質問

▷災害への備えについて



本市の持続可能な行政運営に向けた事業の選択と集中について



志友会 長 正祐

議員 行政事業の見直しや廃止の基本方針、制度的枠組みについて、全庁的に整備されているのか伺います。

企画部長 ISOやマネジメントシステムに基づき、各所管課の責任において判断しています。

議員 事務の統一的な評価基準を策定し、全事業の一斉点検を行うことについて、市長に所見を伺います。

市長 さまざまな事業があり、統一基準で評価するのは現状難しいですが、行政事業を点検、検証、改善することは重要であり、プロセスシートで事業の縮小や廃止の判断に資する改定を研究していきたいと考えています。また、政策継承検討委員会の設置も検討しており、各種事務事業の評価、見直しを進めていきたいと考えています。

議員 新規事業を導入する際に、スクラップアンドビルドの原則を制度として位置付けることについて、所見を伺います。

市長 新規事業を計画する際には

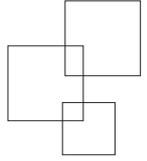
勇気を持って既存事業の縮小・廃止を判断し、スクラップアンドビルドの原則を強く意識して、全庁的に取り組みたいと考えています。

議員 事業の見える化に向け、さまざまなデータをAIで分析し、成果や課題、改善提案を自動的にできる事業評価ダッシュボードを構築することについて、所見を伺います。

市長 デジタル技術を駆使し、行政の見える化や説明責任を果たすべく、事業評価ダッシュボードと同等の情報分析や公表ができるように検討していきたいと考えています。



9月定例会では、9月4日から8日にかけて19人の議員が一般質問を行いました。紙面の都合により、質問と答弁の要旨を1人1問ずつ紹介します。



酷暑・熱中症対策について



公明党 谷之木 勇作

議員 本市のスポーツ関連施設で実施している暑さ対策や熱中症対策について伺います。

文化スポーツ部長 競技エリアに空調設備があれば空調を入れて貸し出し、必要に応じて会議室も開放しています。

議員 近年の猛暑の影響でミストシャワー装置を設置する自治体が増加していますが、本市のスポーツ施設における設置状況について伺います。

文化スポーツ部長 屋外施設であるサン・スポーツランドのテニスコートの通路部分にのみ設置しています。

議員 ミストシャワー装置は簡易で低コストであり、市民に涼や潤いを提供でき、熱中症対策として有効なため、太田市運動公園やスポーツ関連施設で導入していくべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 運動公園でのウォーキングをはじめ、暑い中で施設を利用する市民のためにも、暑さ対策は非常に重要であるため、低コストでの運用が可能

であれば簡易なものから導入を検討していきたいと考えています。

議員 ミストシャワーは他には太田駅にしか設置されていないため、他の公共施設にも導入していくべきと考えますが、所見を伺います。

市長 涼しさが感じられる有効な手段と認識していますが、公共施設は空調管理されていますので熱中症対策として有効活用してもらいたいと考えています。

■その他の質問

▷防犯・防災対策について

▷アピアランスケアの拡充について



補助金の一元的見える化とさらなる適正化について



太田クラブ 木村 浩明

議員 太田市オンライン申請ポータルサイトは電子申請可能な手続きの一覧が見られるようになっており、非常に便利なツールであると考えますが、概要について伺います。

企画部部長 当該サイトは市民の利便性向上を目的として開設され、各種証明書の申請書作成や図書館の貸し出し予約など、いつでも申請や届け出ができるようになっています。

議員 市民サービス向上のため、補助金・給付金の一覧ページを市ホームページのトップに掲載したり、インターネットが苦手な人には冊子を配布することで幅広く周知できると考えますが、所見を伺います。

企画部部長 市民の利便性向上のため、早急にホームページを改善し、さまざまな媒体を活用して幅広く周知をしたいと考えています。

議員 市民への情報提供のあり方は市政運営の根幹に関わる重要な課題と考えますが、補助金・給付金などの

支援制度に関する情報提供の重要性和今後の市政運営における情報提供の充実について、市長の所見を伺います。

市長 補助金・給付金などの制度は、市民生活や地域活動を支える重要な仕組みであると認識しています。情報発信の分かりやすさは市民の行政への信頼につながる重要なものですので、広報おたやホームページ、X、LINEなど、多様な情報発信チャンネルを活用し、市民への情報提供を充実させていきたいと考えています。

■その他の質問

▷補助金の見直しと適正化について



発達障がいの早期発見・早期療育体制の整備と連携強化について



志友会 松川 翼

議員 就学前に支援が必要な児童の把握方法について伺います。

教育部長 教育委員会では各園や児童発達支援センターなどを訪問して様子を観察するほか、保護者や関係機関からの連絡や相談を受け付けて、把握に努めています。また、その際に子どもの実態や保護者の思いなどを情報収集し、学びの場の検討や入学後の支援につなげています。

議員 保護者が子どもの特性に合った児童発達支援事業所を選択できるような支援について伺います。

福祉こども部長 相談支援専門員の支援のもとで事業所の体験利用が可能で、保護者が選択の機会を持つことができるようになっています。

議員 児童発達支援の無償化について、市長に所見を伺います。

市長 本市の子育て施策として全体的なバランスを考慮し、他自治体の例を参考に研究していきたいと考えています。

議員 市営の発達支援センターの整備について伺います。

市長 整備の予定はありませんが、ことばの遅れに対応していけるように、教育委員会が実施している年長児以前の年齢の幼児を対象とした「ことばの教室」を始めたいと考えています。

議員 発達障がいのアドバイザーを配置することについて伺います。

市長 専門的知識を有した専門職の介入は非常に重要であり、配置について今後検討していきたいと考えています。



補助金等の適正な執行と透明性の確保について



市民ファーストの会 山水 めぐみ

議員 太田市補助金等に関する規則において、補助事業者などに半期ごとの報告義務でなく、報告をさせることができるかと規定されている理由を伺います。

総務部長 本規則は基本事項を定めたものであり、各々の交付要綱により定めることができます。

議員 補助金等の見直しに関する検討会議の構成員について伺います。

企画部部長 設置要綱に基づき、庁内の副部長会議構成員で組織しており、市民は含まれていません。

議員 補助事業の交付要綱において、半期ごとに報告を義務づけることについて、市長に所見を伺います。

市長 それぞれの補助事業の目的、内容に応じて交付要綱で定めることが現状としては適当であると考えますが、規則などの改正については社会情勢や市民ニーズに即し、補助制度の適切な運用が図れるよう適宜見直しを図っていきたいと考えています。

議員 補助事業者から先の委託先の妥当性について、審査可能な仕組みを整える必要があると考えますが、所見を伺います。

市長 審査を徹底し、必要に応じて手引きを改定するなど、引き続き補助事業が効果的に実施されるよう、適正な審査執行に努めていきたいと思っています。

議員 検討会議への市民の参加について、所見を伺います。

市長 広く市民の理解を得られるように、検討会議における市民参加枠の新設を検討していきたいと考えています。



一般質問の様子は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただけます。



2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての質問の様子をご覧いただけます。



難病患者への支援について —医療的支援・福祉的支援について—



市民ファーストの会 大川 敬道

議員 指定難病であるALSの概要と市内患者数について伺います。

健康医療部長 ALSとは筋萎縮性側索硬化症のことで、手足やのど、舌などの筋肉が徐々にやせて力がなくなっていく病気です。県によると、太田保健福祉事務所管内では令和7年8月現在、9人が認定されています。

議員 難病患者への治療費の支援について伺います。

健康医療部長 「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づいて県が窓口となり、国が定める指定難病について、治療に係る医療費の一部を助成しています。なお、福祉医療制度の対象となった場合に、保険診療に係る自己負担分が無料となります。

議員 人工呼吸器やたん吸引器などを使用するALS患者が、自然災害などによる長期停電時に電源を確保できるような支援をすべきと考えますが、所見を伺います。

福祉こども部長 県では、非常用電

源整備のための補助金制度を実施していますが、市ではバッテリーなどの支援について研究しています。

議員 在宅人工呼吸器の稼働時間に不安を感じる人もおり、ポータブル蓄電池の補助をすべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 在宅人工呼吸器に内蔵バッテリーがあることを鑑み、その特性を考慮しつつ、非常用外部バッテリーの必要性和有効性を継続的に研究していきたいと考えています。

■その他の質問 ▷啓発事業への共催・後援について



「道の駅おおた」における出荷者との関係悪化の清算に向けた取り組みについて



市民ファーストの会 神谷 大輔

議員 出荷者と指定管理者との関係悪化について伺います。

農政部長 平成の後半頃、運営に対する考え方の相違から関係に摩擦が生じた時期があったと聞いています。

議員 出荷者と指定管理者の協議について伺います。

農政部長 平成27年4月までは出荷・出店者協議会が設置されていましたが、その後は個別の意見聴取に手法が変わったと聞いています。

議員 関係悪化の検証と改善について、市長に所見を伺います。

市長 まずは指定管理者が検証に努めることが大切であると考えますが、必要に応じて担当課からも助言などサポートするようにしていきたいと思えます。今後は双方がお互いに協力し、地産地消や本市の魅力を発信する拠点として運営していくことを期待しています。

議員 より良い道の駅運営を図っていくためにも、出荷者の声を聞き、対

話や協議の場所としての協議会はあるべきだと思えますが、頓挫したままになっている指定管理者と出荷者との協議会再設置について、所見を伺います。

市長 出荷者や出店者から多くの要望があれば、指定管理者が中心となって設置の検討が必要だと思えますので、必要に応じて助言などのサポートをしていきたいと考えています。

■その他の質問 ▷共助を育む「地域の担い手」の健全な確保について



投票率向上に向けた本市の取り組みについて



太田クラブ 若林 卓実

議員 本市における国政と地方選挙の投票率の傾向について伺います。

総務部長 国政選挙は5割前後を維持していますが、地方選挙の投票率は低下する傾向があります。

議員 民主主義の根幹である選挙の投票率低下により、さまざまな弊害が生じる可能性があると考えますが、投票率が低い要因について伺います。

総務部長 投票所の抽出調査によると、10代から30代までの若年層の投票率が他の年代を下回っており、要因の一つであると考えています。

議員 有権者の声をより多く政治に届け、投票率を向上させるためには、期日前投票所の増設が必要と考えますが、市長の所見を伺います。

市長 期日前投票所の増設は有権者の利便性向上を図る有効な手段であると認識しています。正確な投票事務を行うために、メリットとデメリットを考慮したうえで、選挙管理委員会に協議を促していきたいと考えています。

議員 若者の投票率が低い現状について、所見を伺います。

市長 選挙で選ばれる者として課題認識を持っています。本来、身近であるべき地方政治が、多くの有権者の中で声が届きづらく感じられている課題もありますので、若者への周知を含め、さまざまな取り組みが必要だと考えています。

■その他の質問 ▷市内経済活性化事業について ▷デジタルデバイド(情報格差)の解消に向けた本市の取り組みについて



市営住宅の諸課題について



公明党 高橋 えみ

議員 承継要件を満たさない入居者から、引き続き住み続けたいとの申し出があった場合、より柔軟な対応を行う余地について、所見を伺います。

都市政策部長 収入状況や希望する団地の空き状況を確認し、直接面談を行うなど、柔軟に対応していきたいと考えています。

議員 長期間別居による経済的負担軽減のため市営住宅への入居を希望する相談もありますが、本市では認められていません。今後の見解を伺います。

都市政策部長 県外では条件により入居を認めている自治体もありますので、研究していきたいと考えています。

議員 市民の福祉向上という役割を果たすため、本市らしい住宅政策を展開すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 関連法令に基づく、厳正な審査と運用が求められますが、公営住宅は住宅に困窮する低所得者のための住宅である趣旨を理解したうえで、特別な事情がある場合は状況を勘案し、

慎重な判断をしたいと考えています。

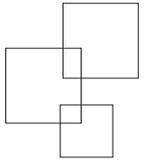
議員 少子高齢化やライフスタイルの多様化など、住宅をめぐる環境は大きく変化しており、住宅に困窮する市民をどう支えるかが課題であると考えますが、今後の本市の住宅政策の方向性について所見を伺います。

市長 公営住宅だけでなく、民間賃貸住宅などの住宅ストックを有効活用し、市民に寄り添った住宅政策を推進していきたいと考えています。

■その他の質問 ▷保育施設における熱中症対策について



質問表題の右横にある2次元コードを読み取ると、それぞれの議員の一般質問の様子を全てご覧いただけます。



人口減少社会における 本市の将来像について



参政党 仁藤 すぐる

議員 本市の人口は令和7年3月末時点で22万2,763人となり、第2次総合計画の目標値を上回っていますが、所見を伺います。

企画部長 出生数が減少し、日本人の人口は減少傾向でしたが、それを上回る形で外国人が増加し、総人口は目標値を上回る結果となりました。地元産業を支える形で外国人人口が増加してきたものと考えています。

議員 外国人の増加は、労働力や地域の活力になるといった側面がある一方で、言語や生活習慣、文化の理解など、さまざまな課題があると考えますが、今後の対応の強化について伺います。

企画部長 外国人の増加に伴う諸課題があることは認識しています。今後も課題解決に向け、関係部局と連携しながら、多文化共生の推進に取り組んでいきたいと考えています。

議員 外国人の増加や少子高齢化による構造的な変化が本市の将来

に影響を与えていると感じますが、20年後を見据えた本市の将来像について市長の所見を伺います。

市長 第3期太田市総合戦略において、「2050年での人口20万人維持」を目標に掲げています。子育てにやさしいまちのイメージ向上のため、多様な施策に取り組むことにより、市民が生きがいを持ち、生活できるような活気あるまちを目指していきたく考えています。

■その他の質問

▷1%まちづくり事業と地域コミュニティの活性化について



子どもの金融経済教育について



弦音会 清水 梨花

議員 子どもの金融経済教育について、本市の取り組みや時代に合った学校での指導について、所見を伺います。

教育部長 学習指導要領に基づき指導するほか、現在の経済環境に合った教材の活用や関係機関との連携が重要だと考えています。

議員 子どもに正しい知識を伝えることで、社会とのつながりを正しく理解することができ、健全な金銭感覚を得られると考えますが、教育長に所見を伺います。

教育長 金融経済教育は社会の一員として生きるために欠かせない重要な教育分野であり、発達段階に応じて適切に扱えるように、現実的な金銭感覚や職業観を育てていくことが学校教育の大きな役割であると考えています。

議員 金融経済教育に関する授業をぜひ実施すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 将来、経済的な自立を果たし、社会で積極的に活躍していくため

に必要な不可欠な教育であると認識しており、各学年に応じた内容で教育を実施しているところです。

議員 政治家や行政は市民にとって手本となる存在と考えますが、県内の入札妨害事件を踏まえ、子どもたちにどう示していくべきか、所見を伺います。

市長 政治家として、子どもたちにとって手本となるような存在であるべきだと考えていますので、しっかりと手本を示していきたいと思っています。

■その他の質問

▷高齢者の金銭・財産管理について

▷本市の道路交通指導について



中島知久平翁立像の移設について



志友会 高木 きよし

議員 中島知久平の生誕地である押切町地内への立像移設について、現在の状況を伺います。

教育部長 立像の移設については以前より議会でも質問がありましたが、令和7年1月に、改めて地元より押切町地内への移設の強い要望があったため、引き続き検討しているところです。

議員 大工業都市おおたの礎を築いた中島知久平を広く知ってもらうためにも、旧中島家住宅を活用して、さまざまな事業を行っていただきたいと考えますが、所見を伺います。

教育部長 文化財としての価値を理解してもらえるよう、イベントや展示会などを継続的に実施していきたいと考えています。

議員 現在、旧中島家住宅は国の重要文化財に指定されて整備事業が開始されており、知久平翁の生誕地である押切町への立像移設は好機と考えますが、市長の所見を伺います。

市長 地元の強い思いを感じていますので、所定の手続きを経たうえで進めていきたいと考えています。

議員 郷土の偉人を本市の文化的財産として活用することは大変重要なことと考えますが、所見を伺います。

市長 旧中島家住宅は現在、本格的な整備に向けて準備を進めています。整備終了後には、地元や多くの市民に活用してもらえるような事業を考えていきたいと思っています。

■その他の質問

▷太田西部幹線の南進の推進について



本市の教育の諸課題について —5歳児健診と発達障がい児者の 支援について—



志友会 大川 陽一

議員 5歳児健診について、県内他市の実施状況を伺います。

健康医療部長 県内では、高崎市と藤岡市、みどり市で実施しています。

議員 発達の支援が必要な児童を早期発見し、必要な支援につなげるため、5歳児健診は大変重要な施策と考えますが、所見を伺います。

健康医療部長 本市でも、発達障がいの早期発見、早期支援の重要な機会と捉え、令和8年度以降の実施に向けて太田市医師会と協議を行っています。

議員 今後、増加する可能性が高い自閉症・情緒障害特別支援学級の支援の充実に向け、教育長の所見を伺います。

教育長 児童生徒の特性を学校と情報共有して必要な人的支援ができるよう努め、研修により教職員の資質能力の向上を図っていきたく考えています。また、入学前の引き継ぎなど、関係機関と連携して切れ目ない支援体制を構築していきたいと考えています。

議員 本市では5歳児健診の実施

を計画しており、きめ細やかなサービスの実現のためにも関係各部・各課の連携をしっかりと図ってみたいと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 児童生徒の特性に応じた適切な支援を行い、特に小学校入学前の年長児に望ましい就学先・学びの場となるよう関係課や関係機関とさらに連携強化していきたいと考えています。

■その他の質問

▷北の杜学園とコミュニティスクールについて

▷不登校児童生徒の現状と課題について



本定例会の正式な会議録は、市立図書館や市議会ホームページ、議会事務局などでご覧いただけます。



2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての質問の様子をご覧いただけます。



アメリカで導入された自動車関連の関税対策について



太田クラブ 渡辺 謙一郎

議員 本市の産業構造とそのリスクについて、所見を伺います。

産業環境部長 本市は自動車関連企業が集積しており、米国への依存が高く、大きな問題だと認識しています。

議員 ソフトウェア、データ産業などの新産業育成への考えを伺います。

産業環境部長 県のデジタルクリエイティブ産業の創出や人材育成での連携強化と推進をしていきたいと考えています。

議員 人材育成、リスクリング支援について伺います。

産業環境部長 各種講座などの開催や、国の助成制度活用により支援していきたいと考えています。

議員 強戸地区産業団地への誘致の取り組みについて伺います。

産業環境部長 成長分野や研究開発拠点など、幅広い業種の企業誘致に取り組みたいと考えています。

議員 「国を富ますは人を富ます」との言葉もあり、市の豊かさとは決して

数字上だけで表されるものでなく、一人一人の暮らしが安定し、地元の企業が健やかに成長することこそ市を富ます基盤となります。市の経済戦略について、市長に所見を伺います。

市長 産業振興とデジタルシフト、地元中小企業の強化や支援制度などの拡充を図り、強戸産業団地整備完了後も社会情勢や将来的な需要の見通しを考慮しながら、市の発展を見据えた経済対策を推進していきたいと考えています。

■その他の質問

▷太田警察署との連携による安全安心なまちづくりの推進について



市における障がい者の法定雇用率未達成の是正について



日本共産党 水野 正己

議員 公務部門の障がい者の法定雇用率は現在2.8%で来年7月から3%です。厚生労働省では障がい者雇用の流れとして、①障害者雇用の理解を深める②配置部署や従事する職務を選定する③受入れ体制を整え、労働条件などを決める④採用活動⑤職場定着としています。本市の雇用率の推移について伺います。

企画部長 令和5年が2.60%、6年が2.48%、7年が2.08%です。

議員 福祉系有資格者の採用で質量ともにサポート体制の充実、ノウハウのある企業や団体との提携、障がい者の特性や配慮必要事項などを学ぶ研修会を全職員が受講することなどが重要ですが、所見を伺います。

企画部長 ハローワークと連携し、管理職や実務担当者向け研修会を計画しており、各部署に業務の切り出しを依頼しています。法定雇用率2.8%の達成に向けて全庁的に取り組んでいますが、目標達成だけに囚われた雇用を

するつもりはありません。

議員 障がい者雇用でのサポート体制の充実や全職員の実習、研修について、市長に伺います。

市長 全ての市民が障がいの有無で分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現が重要です。必要なことはしっかり行い、多くの職員に研修などを受けてもらい、理解を深めることで、継続した雇用となるよう取り組んでいきたいと考えています。

■その他の質問

▷公共交通政策の充実について



「活力あふれるまち太田」の次代に向けたまちづくりの推進と今後の市政運営について



市民の会 尾内 謙一

議員 本市では今年度から第3次総合計画が始まりましたが、次代を築き上げるための土台となる非常に大事な計画です。本市は、さまざまな人の支えにより、独自の事業を重ね、他市から一目置かれる活力のある市になりました。市長の所信表明や会見などでは「良いものは踏襲し、叶えるべきものは検討していきたい」と方向性を打ち出していますが、所見を伺います。

市長 本市は今までさまざまな施策において先進的なことに取り組んできました。その中で、良いものは残しつつ、新たな時代に向けた取り組みはしなければいけないと考えています。人口減少の中で、これからの産業構造や地域産業の振興における新たな施策は非常に重要であり、多くの市民の声を聞いたうえで進めていきたいと思っています。安定的な市政運営が非常に重要ですので、今後もしっかり進めていきたいと考えています。

議員 市長と議会は市民から直接

選挙で選ばれる二元代表制であり、それぞれ市民の民意を背負っています。今後も議会と市長、執行者が良い距離感を持ち、力を合わせて前進していきたいと思いますが、所見を伺います。

市長 議会との二元代表制、そして議員からのさまざまな提案や意見については重要視しています。今後も太田市のためチャレンジしていきたいと考えています。

■その他の質問

▷穂積市長の政治姿勢について

▷副市長の登用とその責務について



委員会では 次の議案を審査しました

本会議で各常任委員会に付託された議案の審査結果について、定例会最終日に行われた委員長報告から要旨を抜粋してお知らせします。

総務企画委員会

■太田市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金基金条例の廃止について

説明 国からの交付金が令和5年度で終了し、基金を充当して実施する事業がなくなったことに伴い、条例を廃止するものです。

審査結果 原案可決

■太田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

説明 「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の一部改正に伴い、妊娠出産、育児、介護と仕事の両立支援に関して改正を行うとともに、子育て部分休暇制度を導入するため、所要の改正を行うものです。

審査結果 原案可決

■太田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

説明 「地方公務員の育児休業等に関する法律」の一部改正に伴い、育児を行う職員の家庭と仕事の両立を支援するため、部分休業制度を拡充する改正を行うものです。

審査結果 原案可決

■太田市建設工事等資金貸付条例の一部改正について

説明 市発注の建設工事等請負業者に対して行う貸付金について、請負金額130万円以上という要件を、200万円超に改正を行うものです。

審査結果 原案可決

市民文教委員会

■太田市学習文化センター条例の一部改正について

説明 太田市学習文化センター内の会議室を太田市平和祈念展示資料室へと改修する工事を行ったことに伴い、施設利用や付属設備について、所要の条文の整備を行うものです。

審査結果 原案可決



■太田市体育施設条例の一部改正について

説明 昭和56年度の供用開始から44年が経過した太田市新田プールについて、設備の老朽化により安全な施設提供が難しく、利用者数も減少し、令和2年度から閉鎖していることから、当該施設の廃止に伴い、所要の条文の整備を行うものです。

審査結果 原案可決

健康福祉委員会

■太田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する

る基準を定める条例の一部改正について

説明 指定地域密着型サービスの運営基準については、介護保険法で省令で定める基準に基づき、条例で定めるものとされていますが、その条例の基準となる省令が一部改正されたことに伴い、改正後の省令と同様の基準に改めるため、所要の条文の整備を行うものです。

審査結果 原案可決

都市産業委員会

■太田市外三町広域清掃組合理約の変更に関する協議について

説明 令和8年7月の太田市外三町斎場供用開始に伴い、太田市外三町広域清掃組合理約の変更を行うものです。

審査結果 原案可決

■太田市営住宅条例の一部改正について

説明 子育て世帯への住宅支援の強化や経済支援、駐車場使用制限の見直しを行うものです。

審査結果 原案可決

■市道路線の廃止及び認定について

説明 市道の2路線43を廃止し、7路線405を認定するものです。

審査結果 原案可決



決算特別委員会

9月11日の本会議で設置された決算特別委員会に「令和6年度太田市一般会計歳入歳出決算認定について」など7件の議案が付託され、9月22日と24日、25日の3日間にわたり慎重に審査を行いました。

各委員の審査後、総括質疑が行われ、採決の結果、全て認定すべきものと決定しました。

委員会審査での主な質疑、意見を委員長報告から抜粋してお知らせします。

決算特別委員

(R7.9.11選任)

- ◎高橋 えみ ○高野 博 善
- 谷之木 勇作 川岸 靖 隆
- 若林 卓実 神谷 大 輔
- 前田 純也 高田 靖
- 木村 浩明 松川 翼
- 白石 さと子 長 正 祐
- 大川 陽一

◎委員長 ○副委員長

一般会計

歳入

問 ふるさと応援寄附金について伺います。

答 全国的に生活用品の人気の高まっていることを背景に、群馬クレインサンダーズ応援ソフトパケットティッシュが好評で、寄附件数が大幅に増加しています。PR方法として、OTA magazineのイベントでの配布や公式Instagramでの返礼品取り扱い事業者の紹介、新たな返礼品や取り扱い事業者の開拓など、多様な手段を用いて寄附の促進を図っています。

■その他の主な質疑

- ・軽自動車税の種別割の増加要因と特定小型原付の動向について
- ・固定資産税の償却資産の適正な課税客体の把握について
- ・市営住宅の入居率の改善について
- ・債権回収の強化に向けた取り組みについて

●教育費に係る歳入

■主な質疑

- ・奨学金における収入未済の要因について
- ・学校給食費滞納者への対応について
- ・エアリススケートパーク太田の採算性について

●総務費

問 本市におけるDXの活用状況について伺います。

答 令和6年度におけるRPAとAI-OCRの活用成果として、17課52業務で4,040時間の業務削減効果があり、新たに複数課で導入され、入カフローの連携を行いました。多言語対応の電子ブック配信ツール「カタログポケット」の導入やICカードとバーコードを用いた受付システムの構築、生成AIのトライアルなど、さまざまな取り組みを行っており、今後も

歳出

市民の利便性向上と行政運営の効率化の両面に取り組んでいきたいと考えます。

■その他の主な質疑

- ・多文化共生センターおおたの開設の背景と役割について
- ・LoRaWANの活用実績と今後の展開について
- ・おおたプログラミング学校の運営状況について
- ・太田市20周年記念事業について

●民生費

問 保育士奨学金返済支援事業について伺います。

答 利用者数と補助金額は年々増加しています。補助期間の延長や対象勤務先の拡大など、制度の拡充を行ってきました。本市で実施している保育士修学資金貸付事業と並行して、引き続き保育士不足対策に取り組んでいきたいと考えます。

■その他の主な質疑

- ・高齢者の熱中症対策とエアコン購入費への補助について
- ・子育て支援のさらなる充実について
- ・強度行動障害児支援について

●衛生費

問 浄化槽設置の取り組みについて伺います。

答 令和6年度の設置件数は新規264基、転換51基です。過去5年間で2回ほど大幅に予算が未執行となりましたが、その要因として個人負担の大きさが大きいことや公共下水道の接続率が75.9%と県内12市中最下位であることも踏まえ、合併浄化槽への転換促進などについて、今後研究していきたいと考えます。

■その他の主な質疑

- ・がん患者や不妊治療への助成金対象の拡大について
- ・ごみステーションのガラス除け対策について
- ・特定外来生物ツヤハダゴマダラカミキリへの対応について

●労働費

問 おおたなでしこ未来塾の運営状況

と今後の事業展開について伺います。

答 これまでの起業セミナーなどの講座のほか、新たにビジネスのためのSNS運用講座を開催するなど、多様な働き方の支援ができていますと認識しています。本事業は女性活躍の場として重要な取り組みであると考えられることから、物価高騰などの社会情勢を注視しつつ、適正な予算確保に努めていきたいと考えます。

■その他の主な質疑

- ・太田市障がい者雇用創出事業の実績と今後の取り組みについて
- ・勤労会館の運営方針と関係者への周知方法について

●農林水産業費

問 大型農業機械導入支援事業の採択方法について伺います。

答 令和6年度は先着順での受付としましたが、採択の透明性や公平性を保つために令和7年度より経営規模や所得目標の達成率などを基準としたポイント制による採択方法を採用しています。農業者からの応募状況やニーズを踏まえ、引き続き採択方法の精査、検証を行いながら事業を継続していきたいと考えます。

■その他の主な質疑

- ・道の駅おおたにおける6次産業化の推進について
- ・地域計画の運用方法について
- ・農業者物価高騰対策支援金の対象者選定方法について

●商工費

問 OTACOの利用拡大に向けた取り組みと経済効果の検証について伺います。

答 スマートフォンを持たない人やアプリの操作に不安がある人に専用の磁気カードを交付しているほか、担当課からの相談に応じ公共施設利用料での使用についても協議していきたいと考えています。今後のアンケート調査により、新たな消費行動への影響を明らかにすることで、事業の実効性をより詳細に検証していく必要があると考えます。

■その他の主な質疑

- ・大光院を中心とした観光振興の取り

組みについて

・昨今の物価高騰を見据えた尾島ねぶたまつりの持続可能性について

●土木費

問 太田駅南口における「ほこみち制度」の活用について伺います。

答 歩行者利便増進道路として指定することで柔軟な道路占用の許可が可能となり、まちなかのにぎわいを創出する手法として有効な取り組みであると認識しています。市街地再開発や大学開校の機会を逃さないよう、ハード、ソフト両面の整備によるにぎわい創出のための環境づくりについて、引き続き関係課と協議を進めていきたいと考えます。

■その他の主な質疑

- ・公園緑地や街路樹などの維持管理に必要な予算と人員確保について
・ドッグパークおおたの設備と名称について
・市内公営住宅集約促進事業の状況と住居者への対応について

●消防費

問 消防職員の定数見直しと人員配置について伺います。

答 消防活動の複雑化や高度化、救急出動件数の増加などに伴い、職員の負担が大きくなっています。今後、持続可能な組織体制を築くためにも、定年延長職員を含めた職員定数の増員と適切な人員配置が必要であると認識しており、関係部署と調整を図りながら研究していきたいと考えます。

■その他の主な質疑

- ・自損行為で搬送される傷病者の傾向について
・消防水利の充足率について
・外部研修における公費による負担について
・#7119の運用方法と今後期待される効果について

●教育費

問 不登校対策について伺います。

答 現在、フローチャートを活用し、視覚化したマニュアルを作成しており、市内全ての教職員に活用を促したいと考えています。一人一人に寄り添った組織的な支援と早期対応に重点を置いたマニュアルを活用し、不登校対策をより一層充実させていきたいと考えます。

■その他の主な質疑

- ・百貨市の新たな取り組みについて
・市内中学校の武道場へのエアコン設置について
・今治市との姉妹都市交流綱引き大会における諸経費や成果について
・スポーツ施設の維持管理経費削減に向けた取り組みについて

●介護保険特別会計

■主な質疑

- ・認知症総合支援事業費の減額理由について
・若年性認知症に関する情報提供や支援の充実について

総括質疑

問 令和6年度決算の評価と今後の財政運営について伺います。

答 歳入面では、為替相場の影響により法人市民税の増収があったことから、財政調整基金からの繰入額を当初予算から大きく減らすことができました。歳出面では、紙おむつ給付事業や小中学校照明器具LED化事業を実施したほか、エアリススペースや多文化共生センターおおたが完成し、本市の強みである子育て、教育を中心とした特徴的な投資を行うことができました。今後の財政運営については、企業誘致による雇用の創出や市街化区域の開発などにより固定資産税の増収を図るほか、徴収率の向上にも引き続き取り組み、投資と健全財政堅持のバランスのとれた財政運営に努めていきたいと考えます。

問 都市計画の統合に向けた本市の取り組みについて伺います。

答 藪塚地区において、アンケートや住民参加のワークショップによるゾーニング案などを基に、線引きに向けた段階的な土地利用規制として、用途地域や特定用途制限地域の指定、地区計画の策定など土地利用計画の素案を庁内検討会議において作成しています。関係機関からの意見聴取、県との調整を行ったうえで、住民に示し、合意を得ながら、地区に合った方法で、住みよいまちづくりを進めていきたいと考えます。

■その他の主な質疑

- ・将来負担比率の低減策について
・農業全般についての支援の取り組みについて
・有害鳥獣対策の現状認識と今後の方針について

9月定例会の 議案などの審議結果をお知らせします

《市長提出議案》

Table with 6 columns: 番号, 件名, 付託先, 審議結果, 採決結果. Lists various council proposals and their outcomes.

Table with 5 columns: 議案番号, 件名, 付託先, 審議結果, 採決結果. Lists council proposals and their outcomes.

《議会提出議案》

Table with 5 columns: 番号, 件名, 付託先, 審議結果, 採決結果. Lists council proposals and their outcomes.

《請願》

Table with 5 columns: 番号, 件名, 付託先, 審議結果, 採決結果. Lists council petitions and their outcomes.

《陳情》

Table with 5 columns: 番号, 件名, 付託先, 審議結果, 採決結果. Lists council petitions and their outcomes.

※「付託先」欄において、「省略」とあるのは、本会議において委員会付託の省略が行われたことを示します。